

授業計画（シラバス）

■科 目	歯科麻酔学・救急蘇生法		■講師名	鈴木 正敏	
Ⅱ部2学年	中期	8コマ（1コマ90分授業）	総時間	15時間	講義1単位
■学修概要 救急蘇生法に必要な基礎知識と全身状態の評価について学び、救急蘇生法の実習を行う。その後は歯科治療に留意すべき全身疾患や歯科治療中の偶発症について学びます。また、局所麻酔法、精神鎮静法および全身麻酔法などについても学習する。					
■授業目的、到達目標 多くの患者が歯科治療は「痛い・怖い」と思っています。その「痛い・怖い」を取り除くのが歯科麻酔学です。また、治療中に予期せぬ全身的偶発症が発症することもあり、適切な処置をしなければ不幸な転帰をたどる可能性があります。数は少ないとはいえ、治療中に心肺停止に陥る患者もおり、救急蘇生法の知識と技術は必須のものといえます。歯科治療時の介補や麻酔に関する薬剤・器具の管理を行うことから、歯科麻酔学について学ぶ必要があり、本学科目では心肺蘇生法も含め講義を行います。					
■授業方法 講義・実習					
■教科書（書籍名・出版社） 歯科衛生士版 <改訂>全身管理と救急蘇生法 学際企画 新人歯科衛生士パスポート+Web【全身疾患医療面接】編					
■成績評価・講義上の注意 出席状況、授業態度および定期試験で評価する。					
■実務経験 日本大学歯学部および日本大学医学部附属板橋病院で研修し、日本歯科麻酔学会認定医を取得。その後、日本大学松戸歯学部歯科麻酔学講座に籍を置き、日本歯科麻酔学会専門医を取得し、教育、後進の指導および病院業務に従事している。また、障害者施設にて歯科治療のための全身麻酔および精神鎮静法管理なども行っている。					
■授業計画（講義の流れ）					
1	救急処置に必要な基礎知識				
2	全身状態の評価（バイタルサインとモニタリング）				
3	救急蘇生法救急				
4	救急蘇生法実習				
5	全身的偶発症				
6	全身疾患を有する患者の歯科治療				
7	麻酔法（局所麻酔、精神鎮静法、全身麻酔法）				
8	定期試験、解答解説				